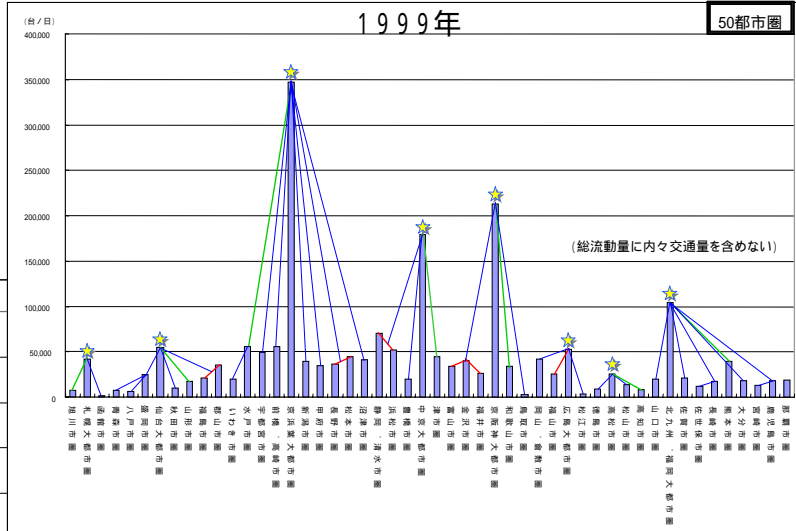
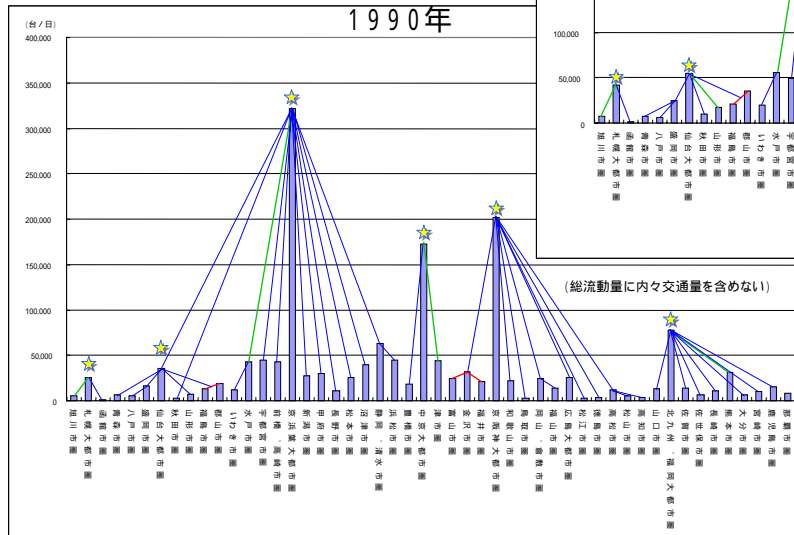


指標：高速道路利用から見た50都市圏のつながり

ろっ骨方向の高速道路ネットワークが整備されてきたことにより、1990年に比べ1999年には、地域ブロックの代表的な都市圏(札幌、仙台、京浜葉、中京、京阪神、広島、高松、北九州・福岡)の中心性が高まりつつある。

ここでいう50都市圏とは？

政令指定都市、中核市、特例市(人口20万人以上)、県庁所在都市の112市を中心都市とし、1時間交通圏を設定した上で、圏域間の連担性から50都市圏に集約したもの。



- : 最大流動先である関係
- : 内々交通量を上回りかつ相互に最大流動先である都市圏の組み合わせ
- : 内々交通量を上回らないが相互に最大流動先である関係

(出典) 全国高速道路自動車起終点調査

注：サンプル調査による市町村間ODを都市圏別に集計し作成した。